

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	柏原市庁舎施設整備事業	階数	地上5F
建設地	大阪府柏原市安堂町	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	714 人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,120 時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2021年10月 予定	評価の実施日	2019年10月11日
敷地面積	10,461 m ²	作成者	株式会社山下設計 服部久雄
建築面積	3,006 m ²	確認日	2019年10月15日
延床面積	9,492 m ²	確認者	株式会社山下設計 服部久雄



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.6</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.4</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.9</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 3.2</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.5</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.7</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.4</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.3</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>まちのシンボルである大和川と調和した景観の形成とともに大和川河川敷緑地公園やかしわらテラスにより市民利用エリアとの連携を図ります。また自然採光や雨水利用などで環境配慮型の庁舎を実現しました。</p>		<p>その他</p> <p>災害後に施設の継続的な活動が可能となるように自家発電の設置をしている。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>内装材にF☆☆☆☆を全面に採用他VOC放出量の少ない建材を使用している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>インテリアパースによる内装計画の事前検証をしている。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>周辺の人が集まる公園から良好な景観を形成している。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>太陽光発電やトップライトを設置している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水便器や節水コマを用いている。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>利用者のための適切な量の駐車スペースの確保し、敷地内に乗り入れる循環バスについては専用のロータリーを設置した。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0107

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	柏原市庁舎施設整備事業					
	建設地	大阪府柏原市安堂町					
	用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					A	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					4	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

	エネルギー消費量の報告	報告しない
--	-------------	-------

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.6	4
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

【その他】		
	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		